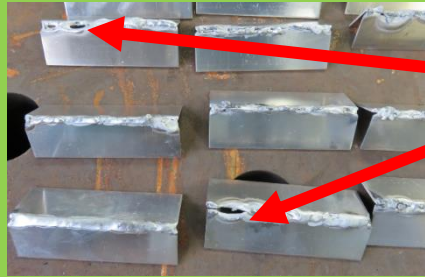


7月20日の課題研究の様子

【社会に役立つ工業技術 農福連携】班

〔アルミ溶接の練習〕TIG溶接機1台を使用するため、6人が時間交代で練習しています。

本日はアルミ溶接の練習と体験入学の準備について取り組みました。アルミの板厚が2mmと薄く、溶接棒の入れ方、トーチの動かしかたなど不慣れで、いずれも溶接の後半で熱によりアルミが溶け落ちてしまうものが続出しています。練習あるのみですね。



穴が開いたり  
ビードが均一  
でなかったり  
難しいですね。

厚さ2mmのアルミ板で熱伝導が良く材料が小さいため溶接が難しいですね。

【金属の歴史探究】班 本日は「金属の歴史探究」の班活動について紹介します。

鉄の歴史は古く、島根にはたたら製鉄による玉鋼をつくる技術があります。今回、「沸かし」（地金とはがねを接合）の技術と焼き入れ等の技術について高橋 勉（高橋鍛冶屋）氏に実演・指導していただきました。

6名の生徒が実際に沸かしを体験させていただきました。



続きは次回より溶接で柄の取り付け部をつくります。



下の写真は完成品の鋏です。



コークスによる加熱



釉薬をまぶす



地金の上にヤスキはがねをのせる



金槌ではがねと地金を叩き合わせる（わかし）



焼き入れは木炭の炎で行う。